

新公立病院改革プランの概要

団体コード	023621
施設コード	001

本様式作成日	平成 29年 1月 10日
--------	---------------

団体名	大鰐町																																																																	
プランの名称	町立大鰐病院新改革プラン																																																																	
策定日	平成 29 年 3 月 31 日																																																																	
対象期間	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度																																																																	
病院の現状	病院名	町立大鰐病院			現在の経営形態		公営企業法財務適用																																																											
	所在地	青森県南津軽郡大鰐町大字蔵館字川原田40-4																																																																
	病床数	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計																																																										
			60					60																																																										
	一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること																																																											
		60			60																																																													
診療科目	科目名	内科、外科、小児科、眼科、耳鼻科(計5科目)																																																																
(1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	① 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割(対象期間末における具体的な将来像)	新たな中核病院の医療機能の充実を図る過程において病院の病床稼働率を踏まえ、病床規模の縮小及び診療所化(有床及び無床)へ向けて方向性を見出し、回復期及び慢性期への機能分化を推進していく。また、中核病院との連携体制を構築し、民間医療機関との役割分担と連携を明確化することとする。																																																																
	平成37年(2025年)における当該病院の具体的な将来像	病院稼働率の低下を踏まえて、病床削減の上で「病院」として維持するのか、「有床診療所」に転換するのか、または他に「介護施設併設」等を検討する。平成29年度中に病院の在り方について町で協議したうえで具体的な将来像を示す予定																																																																
	② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	町立大鰐病院は、地域包括ケアシステムにおいて日常医療を担う「かかりつけ医等の地域医療機関の後方支援病院」としての役割を担うこととなる。在宅医療・介護での生活に支障が生じた場合に速やかに診療・処置が行えるよう地域の医療機関との情報を密にする。																																																																
③ 一般会計負担の考え方(繰出基準の概要)	<p>地方公営企業として運営される公立病院は自らの収入をもってサービス提供するための経費に充てることが原則(独立採算)となっていますが、地域住民の医療を確保するために採算性をとることが困難な場合でも医療を行わなければならないという公立病院の役割を考慮して、「地方公営企業企業繰出金について」の総務省副大臣(繰出し基準)を基本とし一般会計と協議し経費負担を定めます。今後も経営努力により収支均衡を目標に向けて努力してまいります。収入減少により資金不足が生じる恐れがある場合は町財政や町議会の皆様に十分に説明し基準外繰入に対する理解を求めます。</p> <p>○建設改良費及び企業債元利償還金の1/2の額 ○不採算地区病院の運営に要する経費 ○小児医療に要する経費 ○救急医療の確保に要する経費 ○医師確保対策に要する経費 ○基礎金拠出金に係る公的負担に要する経費 ○児童手当に要する経費 ○医師及び看護師等の研究研修に要する費用</p>																																																																	
④ 医療機能等指標に係る数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">1)医療機能・医療品質に係るもの</th> <th>26年度 (実績)</th> <th>27年度 (実績)</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急患者数(人)</td> <td>569</td> <td>453</td> <td>424</td> <td>450</td> <td>480</td> <td>480</td> <td>480</td> </tr> <tr> <td>手術件数(件)</td> <td>38</td> <td>44</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>48</td> <td>48</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>訪問診療</td> <td>47</td> <td>36</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">2)その他</th> <th>26年度 (実績)</th> <th>27年度 (実績)</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック件数</td> <td>192</td> <td>212</td> <td>220</td> <td>230</td> <td>230</td> <td>230</td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>健診件数</td> <td>445</td> <td>383</td> <td>400</td> <td>420</td> <td>420</td> <td>420</td> <td>420</td> </tr> </tbody> </table>								1)医療機能・医療品質に係るもの	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考	救急患者数(人)	569	453	424	450	480	480	480	手術件数(件)	38	44	40	45	48	48	48	訪問診療	47	36	18	24	36	36	36	2)その他	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考	人間ドック件数	192	212	220	230	230	230	230	健診件数	445	383	400	420	420	420	420
1)医療機能・医療品質に係るもの	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考																																																										
	救急患者数(人)	569	453	424	450	480	480		480																																																									
手術件数(件)	38	44	40	45	48	48	48																																																											
訪問診療	47	36	18	24	36	36	36																																																											
2)その他	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考																																																										
	人間ドック件数	192	212	220	230	230	230		230																																																									
健診件数	445	383	400	420	420	420	420																																																											
⑤ 住民の理解のための取組	現状の病床削減及び病院機能の方針に関して町民の医療ニーズがどのようなものか把握する。																																																																	

別記1

(2) 経営の効率化	① 経営指標に係る数値目標									
	1) 収支改善に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考
	経常収支比率(%)		94.1	102.0	103.0	103.9	101.0	102.5	104.8	
	医業収支比率(%)		70.5	67.1	64.1	67.7	70.1	71.0	72.6	
	累積欠損金比率(%)		217.4	233.2	244.5	224.2	223.0	219.6	213.1	
	資金不足比率(%)		0.3	△ 6.8	△ 1.9	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	
	2) 経費削減に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考
	材料費対医業収益比率		21.3	22.4	21.0	21.9	21.9	21.9	21.9	
	薬品費対医業収益比率		14.1	14.9	15.6	14.7	14.7	14.7	14.7	
	委託料対医業収益比率		8.7	10.0	10.5	9.9	9.9	9.9	9.9	
	職員給与費対医業収益比率		79.3	82.8	85.0	82.2	76.9	75.0	72.2	
	後発医薬品の使用比率		1.2	2.6	2.6	3.0	3.5	4.0	4.5	
	3) 収入確保に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考
	入院患者数(人)		12,156	10,024	9,500	9,800	9,800	9,800	9,800	
	一日平均患者数(人)		33.3	27.4	26.0	26.8	26.8	26.8	26.8	
	入院収益(千円)		333,213	273,650	260,000	270,000	270,000	270,000	270,000	
	患者1人当りの収入(円)		27,411	27,299	27,368	27,551	27,551	27,551	27,551	
	外来患者数(人)		33,554	33,055	33,186	33,695	33,695	33,695	33,695	
	一日平均患者数(人)		114.1	112.1	112.9	114.6	114.6	114.2	114.6	
	外来収益(千円)		201,391	200,429	190,428	210,000	210,000	210,000	210,000	
	患者1人当りの収入(円)		6,002	6,064	5,738	6,232	6,232	6,232	6,232	
	4) 経営の安定性に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考
	医師数(人)		5	5	5	5	5	5	5	
	看護師数(人)		34.5	33.0	31.5	31.5	31.5	31.5	31.5	
	企業債残高(千円)		135,280	94,326	79,982	66,952	52,394	43,217	37,723	
	上記数値目標設定の考え方		病院形態の在り方については、平成29年度中に方向性を決めるため現状のまま事業規模及び事業形態で策定している。策定期間中に大幅な変更などに伴い数値目標及び収支計画の修正が必要となった場合は、所要の見直しを行う予定。							
	② 経常収支比率に係る目標設定の考え方(対象期間中に経常黒字化が難しい場合の理由及び黒字化を目指す時期、その他目標設定の特例を採用した理由)		毎年入院収益が減少している状況で、町の財政難でもあることから繰入金総額設定が困難な状況にありますが、一般会計の協力を得ながら黒字化するように調整して行く。							
	③ 目標達成に向けた具体的な取組(どのような取組をどの時期に行うかについて、特に留意すべき事項も踏まえ記入)		民間的経営手法の導入							
			事業規模・事業形態の見直し		今後の病院の在り方(病床数削減や診療所への移行及び老人保健施設併設型への移行等)については平成29年度中に方向性を決める予定である。					
			経費削減・抑制対策		今後の病院の在り方の決定内容によっては、余剰人員も予想されることから、退職職員の不補充の方向で検討する予定である。また、薬品費については、後発医薬品の使用促進等により一層の経費節減を図る。契約方法についても給食業務、警備業務、事務当直業務及び選択業務等について長期継続契約の導入や業務内容の見直しを行いより一層歳出削減に努める					
			収入増加・確保対策		近隣企業・住民ニーズに合わせた健診内容を充実させ、新規利用者の獲得により疾病の早期発見に努め健診事業の増加を目指す。また、町内開業医及び町内の介護福祉施設との連携を強化し入院及び外来の紹介率の向上を目指す。また救急患者及び午後の診療を積極的に受け入れることによる入院外来患者数の増につなげ収益増をめざす。					
			その他							
	④ 新改革プラン対象期間中の各年度の収支計画等		別紙1記載							

別記1

(3) 再編・ネットワーク化	当該公立病院の状況	<input type="checkbox"/> 施設の新設・建替等を行う予定がある <input checked="" type="checkbox"/> 病床利用率が特に低水準(過去3年間連続して70%未満) <input checked="" type="checkbox"/> 地域医療構想等を踏まえ医療機能の見直しを検討する必要がある				
	二次医療又は構想区域内の病院等配置の現況	弘前市を中心とした3市3町2村で構成されている津軽地域保険医療圏は「中央部及び西部地区」の弘前市に「弘前市立病院(250床)」が存在している。また同地区には市立ではないものの公立の「弘前大学医学部附属病院(644床)」及び「独立行政法人国立弘前病院(342床)」が存在している。また、「東部地区」には黒石市の「黒石市国民健康保険黒石病院(257床)」と平川市に「平川市国民健康保険平川診療所(無床)」があり、かつ、この地区において、現在は青森市と合併し青森市浪岡地区となった旧浪岡町地区は「東部地区」の黒石市と車で15分の圏内と近接していることから多くの患者が二次保健医療圏の枠を超えた形で医療提供が行われている。南部地区には町立大鰐病院(60床)、北部には公設民営の藤崎診療所(無床)、板柳中央病院(87床)がそれぞれ設置されている。その他民間の大規模及び中規模の医療施設が多く存在しているのが特徴である。				
	当該病院に係る再編・ネットワーク化計画の概要 (注) 1詳細は別紙添付可 2具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<table border="1"> <thead> <tr> <th><時期></th> <th><内容></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成32年度</td> <td>弘前市立病院と独立行政法人国立弘前病院が合併し新たな中核病院として稼働予定であり、当病院はその影響下にあるため、今後平成29年度内に町立病院としての方向性を決定する予定</td> </tr> </tbody> </table>	<時期>	<内容>	平成32年度	弘前市立病院と独立行政法人国立弘前病院が合併し新たな中核病院として稼働予定であり、当病院はその影響下にあるため、今後平成29年度内に町立病院としての方向性を決定する予定
<時期>	<内容>					
平成32年度	弘前市立病院と独立行政法人国立弘前病院が合併し新たな中核病院として稼働予定であり、当病院はその影響下にあるため、今後平成29年度内に町立病院としての方向性を決定する予定					
(4) 経営形態の見直し	経営形態の現況 (該当箇所にて✓を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合				
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所にて✓を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input checked="" type="checkbox"/> 診療所化 <input checked="" type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行				
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1詳細は別紙添付可 2具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<table border="1"> <thead> <tr> <th><時期></th> <th><内容></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>今後の病院の在り方(病床数削減や診療所への移行及び老人保健施設併設型への移行)については平成29年度中に方向性を決める予定である。</td> </tr> </tbody> </table>	<時期>	<内容>	平成29年度	今後の病院の在り方(病床数削減や診療所への移行及び老人保健施設併設型への移行)については平成29年度中に方向性を決める予定である。
<時期>	<内容>					
平成29年度	今後の病院の在り方(病床数削減や診療所への移行及び老人保健施設併設型への移行)については平成29年度中に方向性を決める予定である。					
	(5)(都道府県以外記載)新改革プラン策定に関する都道府県からの助言や再編・ネットワーク化計画策定への都道府県の参画の状況	自治体病院経営研究会を設置しており年2回開催時において地域医療構想の今後の進め方各病院のプラン策定状況などの情報提供を行っている。また、新公立病院改革プランに関する説明会及び、プラン策定の進捗状況についても個別にヒアリングが実施されて助言を得ている。				
※点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制(委員会等を設置する場合その概要)	病院運営審議会において行う。(町議会議員5名、町開業医1名、学識経験者2名、医療を受ける立場の人(一般町民)2名)				
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	概ね年1回程度進捗状況の整理点検を運営審議会において実施。				
	公表の方法	病院ホームページにて公表する予定。				
その他特記事項						

(別紙1)

団体名 (病院名)	町立大鰐病院
--------------	--------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:千円、%)

区分		年度						
		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
収 入	1. 医業収益 a	598,001	540,096	495,051	547,359	547,359	547,359	547,359
	(1) 料金収入	534,605	474,079	423,909	480,000	480,000	480,000	480,000
	(2) その他	63,396	66,017	71,142	67,359	67,359	67,359	67,359
	うち他会計負担金	41,385	41,385	41,385	41,385	41,385	41,385	41,385
	2. 医業外収益	203,428	283,326	292,714	296,077	244,446	246,672	246,397
	(1) 他会計負担金・補助金	201,997	251,316	290,297	292,785	241,154	243,380	243,105
	(2) 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0	0
	(3) 長期前受金戻入	0	0	1,948	1,948	1,948	1,948	1,948
	(4) その他	1,431	32,010	469	1,344	1,344	1,344	1,344
	経常収益(A)	801,429	823,422	787,765	843,436	791,805	794,031	793,756
支 出	1. 医業費用 b	848,627	804,376	791,637	808,589	780,592	771,270	753,708
	(1) 職員給与費 c	474,248	447,294	437,389	449,999	420,900	410,551	395,118
	(2) 材料費	127,358	120,741	107,044	120,135	120,135	120,135	120,135
	(3) 経費	209,352	194,232	201,628	194,523	195,625	196,652	194,523
	(4) 減価償却費	36,093	41,441	44,228	42,356	42,356	42,356	42,356
	(5) その他	1,576	668	1,348	1,576	1,576	1,576	1,576
	2. 医業外費用	2,753	3,041	3,047	3,442	3,442	3,442	3,442
	(1) 支払利息	1,861	2,084	1,847	2,692	2,692	2,692	2,692
	(2) その他	892	957	1,200	750	750	750	750
	経常費用(B)	851,380	807,417	794,684	812,031	784,034	774,712	757,150
経常損益(A)-(B)(C)	▲ 49,951	16,005	▲ 6,919	31,405	7,771	19,319	36,606	
特別 損益	1. 特別利益(D)	24,929	25,104	0	0	0	0	0
	2. 特別損失(E)	267,598	400	500	890	890	890	890
	特別損益(D)-(E)(F)	▲ 242,669	24,704	▲ 500	▲ 890	▲ 890	▲ 890	▲ 890
純損益(C)+(F)	▲ 292,620	40,709	▲ 7,419	30,515	6,881	18,429	35,716	
累積欠損金(G)	1,300,334	1,259,625	1,267,044	1,236,529	1,229,648	1,211,219	1,175,503	
不 良 債 務	流動資産(ア)	148,386	166,366	174,512	151,736	151,736	151,736	151,736
	流動負債(イ)	191,089	168,132	163,878	165,418	160,038	156,354	155,919
	うち一時借入金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0	0
差引不良債務(オ)	▲ 2,051	▲ 12,577	▲ 26,694	▲ 876	▲ 876	▲ 876	▲ 876	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	94.1	102.0	99.1	103.9	101.0	102.5	104.8	
不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲ 0.3	▲ 2.3	▲ 5.4	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.2	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	70.5	67.1	62.5	67.7	70.1	71.0	72.6	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$	79.3	82.8	88.4	82.2	76.9	75.0	72.2	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額(H)	1,906	0	0	0	0	0	0	
資金不足比率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
病床利用率	55.50%	45.60%	43.40%	44.70%	45.20%	45.50%	45.70%	

団体名 (病院名)	町立大鰐病院
--------------	--------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:千円、%)

区分		年度						
		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
収 入	1. 企業債	51,800	3,800	0	0	0	0	0
	2. 他会計出資金							
	3. 他会計負担金	10,476	13,071	13,652	12,996	13,759	11,069	10,852
	4. 他会計借入金							
	5. 他会計補助金							
	6. 国(県)補助金		11,687					
	7. その他							
	収入計 (a)	62,276	28,558	13,652	12,996	13,759	11,069	10,852
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)							
	前年度許可債で当年度借入分 (c)							
純計(a)-[(b)+(c)] (A)	62,276	28,558	13,652	12,996	13,759	11,069	10,852	
支 出	1. 建設改良費	55,982	21,980	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960
	2. 企業債償還金	41,699	44,754	14,344	13,032	14,558	9,178	5,494
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0
	支出計 (B)	97,681	66,734	27,304	25,992	27,518	22,138	18,454
差引不足額 (B)-(A) (C)	▲ 35,405	▲ 38,176	▲ 13,652	▲ 12,996	▲ 13,759	▲ 11,069	▲ 7,602	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	35,405	38,176	13,652	12,996	13,759	22,138	18,454
	2. 利益剰余金処分量							
	3. 繰越工事資金							
	4. その他							
計 (D)	35,405	38,176	13,652	12,996	13,759	22,138	18,454	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	

1. 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
?再入力	収益的収支	(0) 243,382	(110,075) 317,805	(150,000) 331,682	(150,000) 334,170	(150,000) 282,539	(150,000) 284,765	(150,000) 284,490
	資本的収支	(0) 10,476	(0) 13,071	(0) 13,652	(0) 12,996	(0) 13,759	(0) 11,069	(0) 10,852
	合計	(0) 253,858	(110,075) 330,876	(150,000) 345,334	(150,000) 347,166	(150,000) 296,298	(150,000) 295,834	(150,000) 295,342

(注)

- 1 ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。